

# め 負 の 野



ISO9001認証取得

〒930-0143  
富山県富山市西金屋6682番地  
社会福祉法人めひの野園  
TEL.076-436-0270  
発行責任者 中田 匡  
(表題書)  
高岡市中川上町3の31  
(故)社浦 荻水先生

「作業センターふじなみ」の培養室で、椎茸の菌床ブロックを並べる林直樹さん。測ったように均等に間隔を空けながら、次々とブロックを並べていきます。

## 直樹の「めひの野園での38年」

初めて直樹がめひの野園と出会ったのは、今から38年前の昭和57年の春でした。この頃、中田勉前理事長さんが新しい障害者施設の開設を考えておられると聞き、急ぎ訪ねたのを覚えています。

その時はプレハブの建物があるだけでしたが、中田勉前理事長がリーダーとなり、あの頃まだ若かった中田匡現理事長や職員の方々が自閉症の方への支援について熱く語り合い、利用者さん達と共に山歩きへ行く姿が目には焼き付いています。

その場で一緒に山歩きに行くことを引き受けて頂き、それから6年間、親子共々山歩きを継続させて頂きました。ちよつとしたことで、パニックに陥り、手が付けられなかった我が子が、山歩きを重ねるうちに、夜は疲れて熟睡してくれるのが何より助かりました。

昭和58年には「うさか寮」が開設されましたが、当時の入所は叶わず、先に入所された40名を羨ましく思った記憶があります。その後重度棟が開設され、ようやく入所が叶いました。

今でこそ「地域との共生」が叫ばれるようになりましたが、当時はまだこのような考え方は広まっていませんでした。そんな中でめひの野園ではいち早くグループホーム設立に取り掛かっておられました。当時「福祉ホーム」という形で「群竹寮」が開設され、それを機に直樹は入寮し、一般就労も決まりました。

現在、直樹は「作業センターふじなみ」で天職と思う程の仕事に恵まれ、日々作業を楽しんでいます。今後も地域で生き生きと暮らしていければと願っています。

林 よし子 (梨の木苑保護者)

めひの野園の今日のニュースと明るい明日を紹介します!

# あしたのめひの

## 第16回 緊急対応・衛生委員会

～利用者さんの安心・安全を守るために～



「各地で起きている災害は、『対岸の火事』ではなく、自分事と捉える意識が大切」と話す山橋委員長

めひの野園には、職員によって編成された11の委員会があり、それぞれの課題に取り組んでいます。今回は、様々なリスクや緊急事態に備え、利用者さんに安全な環境を提供する「緊急対応・衛生委員会」の山橋真人委員長に話を聞きました。

Q 台風等の自然災害への対応に加え、「新型コロナウイルスの感染防止」という、とても大きな課題が出て来ましたね。

——当委員会では、利用者さんの安心・安全を第一に、様々な防災活動に取り組んできました。そんな中、新型コロナウイルスの感染拡大という脅威が発生したため、現在はその対応に追われています。5月に入り、感染者数は減少傾向にあるものの、まだまだ油断はできない状況だと思っています。利用者さんはもちろん、保護者や職員、その家族にまで及ぶ問題ですからね。

Q どんな対策をしていますが

——委員会単独ではなく、各事業所と連携を取りながら園全体で取り組むという体制をとっています。当委員会は、園の看護師や介護福祉士、事業所マネージャー等で組織されているので、多方面からの意見や情報を共有することができず。それを委員が各々の事業所にしっかりと伝え、そこで取るべき対策を検討しています。共通の対応としては、手洗いの励行、マスク着用の義務付けといった従来の感染症対策に加え、通所利用者や外来者の検温、事業所内の消毒を徹底するなど、「今出来ること」に取り組んでいます。

Q 入所施設では、生活面での対策も必要になりますね。

——感染拡大のリスクを避けるため、入所施設の利用者さんには、自宅への帰省をしばらくの間我慢してもらっています。また、緊急性のない通院や理美容など、自粛していることもたくさんあります。厚生労働省からは、「もし寮内で感染症が発生した場合、軽症者は障害特性を踏まえた上で、施設内で静養させるように」と指示が出ました。そこで、感染症が発生した場合を想定し、生活空間の区分けや対応職員の安全の確保といったシミュレーションを行いました。



バス送迎の際は、乗車前に検温等の健康観察を行っています

Q、その他の活動内容を教えてください

——自然災害への対策を進めています。めひの野園は山に囲まれ、地下には活動層も走っています。大きな地震等が発生した際には相当な被害が出るものとして対策を練らなければなりません。事業所ごとに危険箇所や起こりうるリスクを洗い出し、順次検討しているところです。グ

Q、今後の課題は?

——今回のような新型コロナウイルスの感染拡大だけでなく、世界や日本各地では様々な災害が発生し、我々と同業種の施設でも大きな被害を受けています。これを対岸の火事として考えず、自分事として考えることが大切だと実感しています。

今後当委員会が中心となり、普段から職員の危機意識を高め、災害等のリスクに備えていきたいと思っています。



毎年行われている救命救急講習の様子。心肺蘇生法やAEDの使い方などを習っています

ループホームの利用者さんは、指定の避難場所へ移動する練習等を行っています。また、毎年全職員を対象に「救命救急講習」を実施しています。利用者さんたちの身に何か起こった場合にも、この講習で得た知識をもとに、落ち着いて自信をもって対応してもらいたいと思います。

私たち支援員も、災害を「自分事」として意識を高めていかなければと思いました。  
記・広報委員会 柴田 香奈江



# こんな支援が あったまる!

第11回 ~感染症予防のための支援~

3月30日(月)、富山県内で初めての新型コロナウイルス感染者が確認されました。中国・武漢で発生した新型コロナウイルスに関して、それまでも対応策の検討はしていましたが、あくまで「万が一」に備えてのもの。それが県内で確認されてからは「感染拡大」が一気に現実味を帯びてきたのです。

利用者さんの健康保持と、安心して過ごせる日常生活の提供のために、これまで当園で行ってきた感染拡大予防の取り組みについて紹介します。

## 手づくりパン工房 やねのうえのガチヨウ

「お客様、利用者さんの健康を第一に」  
「街のパン屋さん」として、地域の方々に愛されている「やねのうえのガチヨウ」。日頃の感謝を込め、本来であれば4月に「12周年感謝セール」を行っていたはずなのですが、今年は感染拡大のリスクを考慮し、止むなく中止といたしました。

ありがたいことに、毎年セール当日には開店前から行列ができ、開店と同時に店内はお客様で一杯になっていました。しかし、現状ではそのような「密」の状態は避けなければなりません。お客様の健康を第一に考えた上でのごです。また、店舗2階のイートインスペースも、感染予防の観点から現在は閉鎖しています。

職員の感染予防意識の向上はもちろんですが、利用者さん達への指導や啓発も必要です。そこで、事業所職員が利用者さん向けに「新型コロナウイルス対策」についての講習会を行いました。



利用者さん向けに、動画を見ながらウイルス対策の講習会を行いました。

ウイルス対策の動画を見て、咳やくしゃみ、手に付いたウイルスから感染することを学び、その後、手洗い場に掲示した「手洗いの手順表」を見ながら、職員と一緒に石鹸で手洗いを実践しました。



店内の手洗い場に「手洗いの手順表」を掲示し、利用者さんはこれを見てしっかり手を洗っています

## うさか寮

基本的な感染症対策を徹底する

入所施設である「うさか寮」は集団生活の場なので、一人でも感染者が出たしまえばクラスター化するの明白です。そこで、うさか寮の生活支援員は、起床時、日中の活動時、帰寮時と、こまめに利用者さんの検温を行うことや、職員が付き添ったの手洗い、居住スペースの換気、利用者さんが手を触れそうな箇所の消毒など、思いつく限りの「今出来る事」を行っています。



作業場から寮に帰ってきたら、まずアルコール消毒しています

## 目に見えない心のケアをも大切に

帰省を我慢してもらっている「うさか寮」の利用者さんには、相当の不安やストレスが溜まっていると思われます。そこで、「少しでも気晴らしになれば」と、園の送迎バスを活用した「降りないドライブ」を職員が企画しました。密集を避けるため降車はせず、「海王丸パーク」、「新湊大橋」といった県内の観光スポットをドライブしました。



「新湊大橋」や「海王丸パーク」をバスで回り、少しは気晴らしになったかな?

「新型コロナウイルスは、私たちに色々なことを教えてくれています」と話すのは、当園の小野看護師。「手洗いや消毒等の基本的な予防の大切さ、規則正しい生活の大切さ、職員間の連携の大切さ」等を改めて気づかされました。見えないウイルスを相手に慌てることなく対処していきたいです」と気を引き締めます。



まだまだ終息が見えない現状ですが、職員一丸となって支援していきます!  
記・広報委員会 津嶋 順子

# めひのキラリ！人

Vol.1



今回のキラリ！人  
ウォーム・ワークやぶなみ  
鶏卵・堆肥部門

青木 良成さん

めひの野園では、「利用者さんの出来ること、得意なこと、好きなことを活かし、仕事につなげていく」ことをモットーに支援をしています。利用者さんの中には、自分の仕事に没頭するうちに素晴らしい技術を身に付けていつしか「めひの職人」と呼ばれている人々がいます。そんな「キラリ！」と光る「めひの職人達」を紹介していきます。

今回の職人は、鶏の世話からパック詰めまで全てをこなす…人呼んで「めひの「鶏卵職人」」。

めひの野園の鶏舎では、現在4000羽ほどの鶏が飼育されています。一般的なブロイラーと違い、鶏舎内で放し飼いにする飼育方法は「平飼い」と呼ばれ、自由に動き回る鶏たちはストレスが軽減されることで、美味しい卵を産むことが出来ると言われていています。



黙々と卵を集めていく青木さん

鶏舎内で、黙々と鶏の世話をしている青木良成さん（ウォーム・ワークやぶなみ鶏卵・堆肥部門）。鶏のエサやり、水やりを終えたら、鶏たちが産んだ卵を集めていきます。鶏卵・堆肥部門で一日に採れる卵は約2400個。青木さんを始め、部門の利用者さん、職員が協力して集めています。

「鶏のエサやり、採卵といった鶏舎内の作業は、どれも安心して青木さんに任せることが出来ます」と話すのは同部門の古瀬支援員。職員から全幅の信頼を得ている青木さんなのです。



鶏舎内を自由に動き回る鶏たち

一つひとつの卵を丁寧な作業で…  
そして生まれたブランド卵が「呉茶玉」です。

集められた卵は、一つひとつきれいにされ、サイズごとに分けられます。色が薄い卵や、形が悪い卵は選別され、最終的な検卵作業を終えた物がようやく商品として販売されます。こうして出荷されるめひの野園の卵は「呉茶玉（ごちゃだま）」と呼ばれ、主に富山市内の飲食店で使用され、高い評価を得ています。



卵をサイズ別にトレイに並べていきます

そんな青木さんの夢は、「給料を貯めて、いつか宇奈月温泉に一人旅に行くこと」だそうです。団体行動が苦手なので、園の旅行とは別に一人で旅行に行ってみようかと。

これからも得意な卵の仕事が続け、いつかその夢を叶えてくださいね！

得意なことを活かし、頑張る利用者さんを紹介していきます。  
記・広報委員会 岡崎 秀徳



# 新規採用職員紹介

めひの野園に新たに採用された職員6名の、  
趣味や特技、抱負を紹介します。

春の苑 生活介護班 生活支援員

よこや まどか  
**横谷 円香** (写真中央)



**趣味・特技**…読書、ストレスを溜めすぎないこと  
**抱負**…利用者さんが安心して日常を送れるような支援が出来るように成長していきたいと思います。

春の苑 生活介護班 生活支援員

あずま るな  
**東 瑠奈** (写真中央)



**趣味・特技**…読書、写真撮影、バドミントン  
**抱負**…健康に留意し、積極的に知識・経験を積み、何事にもすばやく反応できる理解力・判断力を養いたいです。

春の苑 リサイクル班 生活支援員

かめざわ ゆうと  
**亀澤 勇人**



**趣味・特技**…散歩、映画鑑賞、珈琲や紅茶を飲む、にらめっこが強い(笑)  
**抱負**…利用者さん一人ひとりのことを理解し、末永く支援できる職員になりたいです。

やねのうえのガチョウ  
店舗部門 職業指導員

あきめ ゆうこ  
**秋目 優子**



**趣味・特技**…編み物、愛犬との散歩  
**抱負**…「このお店で買ってよかった」と思っていたかのような接客を心掛けたいです。

梨の木苑 渋溪寮 世話人

たけやま ひろこ  
**竹山 浩子** (写真左)



**趣味・特技**…断捨離(ミニマリストを目指しています！)  
**抱負**…利用者さんとコミュニケーションを密に取り、和気あいあいと楽しく過ごしたいと思います。

ウォーム・ワークやぶなみ  
食彩部門 職業指導員

ながき ちえこ  
**長木 智恵子**



**趣味・特技**…ランチの食べ歩き  
**抱負**…利用者さんの出来ることに目を向け、可能性を信じて支援していきたいです。

3年目、私事なのだが、結婚を機にネガティブな自分が変わっていることに気付いた。「不安や心配を考え込むのではなく、すぐに行動しよう」と思うようになり、「猛暑を予測し、水やりを入念に行う」、「霜注意報の際は不織布で霜除けをしておく」等、前もってやっておく作業の重要さに気付いたのもこの頃である。

そして時は流れ、教わる立場から教える側になった5年目の今は、「失敗も経験として活かし、考えるより先に身をもって体験すること」の大切さを実感している。

昨年は家族が一人増え、もうじき1歳になる。仕事に家庭に何となく忙しく、機械いじりの暇も無い日々だが、「バイクのエンジン音もいいが、この賑やかさも悪くないな」と思うこの頃である。

## 群竹 muretake

めひの野園職員の  
雑感コーナー



ウォーム・ワークやぶなみ  
栽培・堆肥部門  
**保木 諭吉**



# Good report!

毎年めひの野園には、介護体験実習で学生さんたちが訪れ、障害者福祉の実践の場で実際に利用者さんに接することで、普段学ぶことのできない様々なことを掴んでいきます。

昨年度、富山大学から介護体験実習に訪れた実習生のレポートの一部を紹介します。

今回のめひの野園での介護体験実習で学んだことは、「自閉症」と言ってもその症状の程度は様々だということでした。実習中に実際に自閉症の方と多く交流することによってこのことを体験することが出来ました。話すことや、自分で食事をすることが難しい方もいましたが、一方で椎茸生産の仕事も任せ、会話を楽しむことが出来る方もいました。「自閉症などの障害には、一人ひとりにあった支援が必要だ」といわれる理由がよく分かりました。



「みしまの工房」での実習では、利用者さんと一緒に作業に参加しました。

また、福祉に関わる施設では、清掃や整理が重要だということも学びました。めひの野園では「5S活動」が重視されていました。生活介護事業を行っている「春の苑」で、私たちは毎朝実習の前に掃除をしました。そしておやつ時間の後にも掃除が行われているため、春の苑は常に清潔が保たれていました。「作業センター・ふじなみ」や、「みしまの工房」では、利用者さんが様々な作業を行っていましたが、その作業の手順は整理されて分かりやすく、初めて作業に加わった私でも作業を行うことが出来ました。5S活動は、利用者さんが安心して生活し、自身の能力を発揮するために役立っていたと思います。

(Kさん)



「牛乳パック再生和紙」の材料になる紙ちぎり作業に利用者さんと一緒に取り組みました

介護実習の初日は、「みしまの工房」を訪れました。初めて自閉症の方と接するということもあり、それぞれのこだわりの強さや個性にとっても衝撃を受けました。

自閉症と言ってもその障害の程度は人それぞれで、人によって出来ることと、そうでないことがあります。めひの野園では、それを「個性」としてポジティブに捉え、「出来ることを伸ばそう」という姿勢で利用者さんと向き合っているのを感じました。利用者さんごとに違う個性を持っているので、一人ひとりに合った仕事を見つけていくのは大変なことだと思います。

「何でも施設の人がやってあげる」のではなく、「出来ることはやらせてあげる」ことが、利用者さんの成長につながるのではないかと感じました。

(Sさん)

5日間の介護体験実習で、私自身の「介護」の捉え方が変わりました。生活介護を中心に行っている「春の苑」で、私は食事介助をさせていただきましたが、コップの傾け方一つをとっても、どこまで利用者さん自身が出来るのか分からず、難しさを感じました。実習を受ける前は、「一から十まで補助すること」が介護だと思っていましたが、出来ることはなるべくやってみようことも大切な支援なのだと感じました。また、利用者さんの中には、言葉が話せず、コミュニケーションが難しい方もいます。利用者さんが「何に困っているか」を把握するだけでもとても大変なことだと思いますが、職員の方々は、利用者さんの細かい仕草や表情から、利用者さんが言いたいことを理解しようとされていました。

今後、医療人として生きていく中では介護の場面も多いと思いますが、今回の実習を通して学んだことを活かしていきたいと思っています。

(Tさん)



# しいたけくん



ここは2014年に開設された、「相談支援を行う事業所なんだよ!!」

福祉の魅力を現場に突撃レポート!!

今回は、「めひの自閉症地域生活支援センター」にやってきました。



昔から困っている人を放っておけない性格でした。

2019年の台風被害のときには、長野にボランティアに行ったりしました。

そんなちょっとした機会が、一歩を踏み出すきっかけになったりします。

そうやって、みなさんの生きる力、元気を引き出す手伝いをするのが、私の仕事だと思っています。

これからも、やってみよう!!と思ったことには、どんどん積極的に取り組みたいです。

それが、一人ひとりが豊かに生きる力になればと思います!!



# めひの野園後援会総会 開催

4月18日（土）午前9時30分より開催を予定していましたが、今年度のめひの野園後援会総会は新型コロナウイルスの感染拡大防止のため中止いたしました。

2019年度決算報告及び2020年度（福）めひの野園の事業計画につきましては、下記の通りです。

ご不明な点がございましたら、当園までお問い合わせください。

## 2019年度めひの野園 後援会決算書

(期間 2019.4.1～2020.3.31)

単位：円

収入の部		支出の部	
後援会費	1,527,542	諸費用	3,460
預金利息	13	切手・封筒代	
小計	1,527,555	小計	3,460
		本部経理区分へ	1,500,000
前年度繰越金	51,874	次期繰越金	75,969
合計	1,579,429	合計	1,579,429

## 会員数

一般会員	304件	870,028円
団体会員	68件	657,514円
合計	372件	1,527,542円

## 2020年度（福）めひの野園 品質方針

1. まだ手が差し伸べられていない人たちに手を差し伸べ、その障がいをよく理解し、心の扉を開いてもらえるよう歩み寄ります。
2. 自閉症の人たちへの関わりのあるあり方と、関わりを通じた理解のあり方について、常に研鑽を積みます。
3. 処遇が困難とされる自閉症の人たちに、相談支援の場、生活支援の場、就労支援の場、余暇支援の場及び地域支援の場を提供し、生涯を通じた総合的な治療・教育・援助を行います。
4. 障がい者に対して、事業計画にそって地道な実践を積み上げ、障がいのある人たちが、地域社会において共生できるように支援します。

## 2020年度（福）めひの野園 基本方針

1. 私たちは、人生の最も苦しい、いやな辛い損な場面を真っ先に微笑を以って担当します。

—玉川モットー— 「人生の最も苦しい、いやな辛い損な場面を真っ先きに微笑を以って担当せよ。」

—小原国芳— 教育学者・学校法人玉川学園創立者・玉川のオヤジ・<sup>ぜんじん</sup>全人教育の提唱者・最後の私塾創立者

2. 私たちは、自らに深く安らぎ、ただ、いまここにあることを味わい楽しみ、思うがままに悠々と生き、一人でも多くの障がい者を幸せにします。

2020年の言葉

「<sup>こうねんとしてしてきす</sup>曠然自適」とは 曠然は、広々として何もなさ。自適は、自分の思うままの自由な生活をして、心地よく、自ら楽しむこと。

3. 私たちは、「<sup>てつ</sup>轍を踏む」のではなく、地域における障がい者福祉の世界に、<sup>わだち</sup>新たな「轍」をつくっていきます。

「<sup>てつ</sup>轍を踏む」とは、前にやっていた事と同じ方向に進んだり、同じ事をしたりすること。

「<sup>わだち</sup>轍」とは、車が過ぎた後に残る車輪の跡。



#### 4. 私たちは、利他を積み重ねます。

- 「利他」とは
- ① 他人に利益となるように図ること。自分のことよりも他人の幸福を願うこと。
  - ② 人々に功德・利益を施して救済すること。

#### 5. 私たちは、5S活動を定着化します。

- 「5S」とは
- ・整理 (いらないものを捨てる。)
  - ・整頓 (決められた物を決められた場所に置き、いつでも取り出せる状態にしておく。)
  - ・清掃 (常に掃除をして、職場を清潔に保つ。)
  - ・清潔 (整理・整頓・清掃を維持する。)
  - ・躰 (決められたルール・手順を正しく守る習慣をつける。)

#### 6. 私たちは、法人及び事業所の経営改革に積極的に、かつ、先駆的に取り組みます。

- (1) 「経営の4本柱」とは ・マーケティング ・労務管理 ・財務管理 ・サービス管理
- (2) 「経営の5大資源」とは ・人的資源(ひと) ・物的資源(もの) ・財務的資源(かね)  
・時間的資源(とき) ・情報的資源(しらせ)

#### 7. 私たちは、笑顔・挨拶・礼儀を心がけ、報告・連絡・相談を徹底します。

#### 8. 私たちは、危機管理意識を常に持ちます。

### 2020年度(福)めひの野園 事業計画

障がい者が自らの望む地域生活を営むことが出来るよう、相談・生活・就労・余暇・地域に対する支援を充実し、一層の推進を図ることを目的として、下記の事業を計画している。

また、地域に根ざし、障がい者のニーズに即した事業所づくり、福祉サービスの提供にこれまで以上に努め、「地域に開かれた社会福祉法人」になれるよう戦略的経営の実現を図る。

#### 1. 2020年度事業計画

- (1) 事業名共同生活援助(介護サービス包括型)事業所 「梨の木苑」新規グループホームの建築
- (2) 事業名「飛騨流葉牧場」の食鳥処理機器の整備

所在地 富山市西金屋字高山6694番5  
構造等 木造平家建 スプリンクラー設備付  
延床面積 219.65㎡

内容・用途 当法人の通所事業所利用者の中で、生活面において緊急に支援が必要な女子利用者を優先して、「作業センターふじなみ」パックセンター西側の敷地にグループホームを新たに建築する。

工事費総額(設計見積額)	107,000,000円
財源内訳 国・富山市補助金	24,000,000円
当法人保護者会寄附金	59,000,000円
自己資金	24,000,000円

内容・用途 現在、手作業にて行っている「飛騨地鶏」のと畜工程を機械化することにより、職員の業務省力化が図られるとともに、食鳥処理能力の向上が見込まれる。よって、外部からの食鳥処理の依頼も受けられるようになり、結果、利用者工賃の向上に繋がる。

整備費総額(業者見積額)	10,000,000円
財源内訳 (福)清水基金助成金(予定)	7,000,000円
自己資金	3,000,000円

#### 2. 2021年度以降の事業計画

- (1) 富山市内における10箇所目のグループホームの整備
- (2) 飛騨市神岡町内におけるグループホームの整備



宮田 伸朗	高岡市	(株)インファーマシーズ	アイン薬局	(株)北国屋商店	小矢部市	浅田 為久	高岡市
増田 豊一	富山市	富山大学病院前店	富山市	太平ビルサービス(株)富山支店	富山市	(株)浪速電機工業所	富山市
山口書店	富山市	(株)リビック富山	富山市	ニッタン(株)富山営業所	富山市	東 真盛	富山市
寺田皮ふ科ひ尿器科医院	富山市	牧石 秀昭	富山市	北日本放送(株)	富山市	なのはな農業協同組合	富山市
(有)三和防災工業	中新川郡上市町	保木 諭吉	富山市	滝上 真由美	富山市	澤田 勇	富山市
(株)フードシステム	富山市	寺岡 しのぶ	富山市	室澤 尚史	高岡市	平野 道子	射水市
丸果(株)高岡青果市場	高岡市	岡部 茂之	富山市	北川 美穂	富山市	藤井 正利	富山市
北陸総合警備保障(株)	石川県金沢市	村上 祥子	射水市	米田 五百子	高岡市	下条 竜一	射水市
岡崎 秀徳	富山市	岩崎 彰	富山市	津嶋 順子	富山市	高島 三喜男	射水市
小瀬 義雄	岐阜県飛騨市	藤井 いづみ	富山市	大居 定雄	南砺市	(株)門エンジンアリング	富山市
富山縣護國神社	富山市	高山 敏明	高岡市	小林 ひろみ	富山市	加納 裕	富山市
(株)日本空調北陸	富山市	大谷 隆	富山市	(有)三輪商会	富山市	沖村 利秋	富山市
(株)スパック	高岡市	高岡整志会病院	高岡市	林山 いち子	富山市	松本 繁治	東京都新宿区
内山 隆一	射水市	村石 篤	富山市	福田 一	富山市	村藤 幸作	富山市
北陸銀行 呉羽支店	富山市	(有)アイシステム	富山市	中澤 一行	富山市	平野 宏枝	富山市
牧野 健治	砺波市	大門 信吾	高岡市	黒川 実香	富山市	戸田 洋子	小矢部市
牧野 芳子	砺波市	近岡 佳彦	富山市	福居 千香	富山市	(有)タイセイツアーズ	富山市
金子 征洋	富山市	中田 圭三	富山市	藤木 恵子	富山市	松本 隆	富山市
(株)ダスキン北陸小杉営業所	射水市	中村印刷工業(株)	富山市	東 角太郎	砺波市	福田 知行	富山市
梶 トヨミ	高岡市	(有)サン・アルスア	富山市	笹谷 守	富山市	(株)三久技研	富山市
武 長	富山市	(株)淀川ランドリー	富山市	伊東 克子	富山市	テレ通(株)	富山市
ダイヤライフ	富山市	(株)島田樹脂	富山市	伊東 克良	富山市	吉倉 満智子	魚津市
内山 勝子	富山市	(有)坂東設備	射水市	野上浩太郎後援会	富山市	塚田 正幸	富山市
本家かまどやニュー球場前店	富山市	安田 成典	中新川郡立山町	西田 紀代子	富山市	田代 貞子	富山市
加藤 冷子	富山市	村家 博	富山市	入江 宣行	大阪府吹田市	田代 広之	富山市
島上 慎一	砺波市	吉田 勉	富山市	入江 裕子	大阪府吹田市		
(株)完誠プランニング	富山市	坂井 駿男	富山市	大西 悦子	南砺市		
富山県火災共済協同組合	富山市	山崎 恵一	富山市	大西 正昭	南砺市		
小川 敏朗	富山市	川原田 敏子	富山市	北村 悦子	富山市		
熊膳 勇	富山市	(株)中曾根造園	富山市	北村 正二	富山市		
森産業(株)	群馬県桐生市	寺脇 弘美	富山市	柿沢 玲子	魚津市		
木津 諒一	富山市	須沼 雄二	富山市	海内 孝明	射水市		
日本海建興(株)	富山市	荒谷 良子	富山市				

後援会振込口座番号  
 北陸銀行呉羽支店 店番号120  
 普通預金6077230  
 めひの野園後援会

# 花ノ木神社へ「神社のぼり」を寄進しました。



毎年、桜のシーズンになると、「春の苑」の利用者さんたちが散歩で立ち寄る「花ノ木神社」。絵画教室では、きれいに咲き誇る桜のスケッチに出かけています。また、花ノ木地区にある当園のグループホーム「金草寮」の利用者さんは、用水の清掃活動等の地域行事に積極的に参加しています。

この度、地域の神社として親しまれているこの「花ノ木神社」に、ゆかりのある4名の方と連名で「神社のぼり」を寄進しました。

後日、神社から金草寮に「真榊（まさかき）」が届きました。神棚にお供えし、利用者さんたちへありがたそうに手を合わせていました。



「金草寮」の神棚に供えられた「真榊」

## ご寄付ありがとうございました。

(2020.1.21) (2020.4.27) 敬称略

- 佐藤理容院 富山市
- 中田 匡 富山市
- 加藤 清 富山市
- 富山短期大学 富山市
- めひの野園保護者会 東京都
- 日本社会事業大学 富山市
- めひの野園後援会 富山市
- 高柳 秀治 富山市
- 匿名 富山市

寄付金振込口座番号  
北陸銀行呉羽支店 店番号120  
普通預金6077230  
社会福祉法人 めひの野園

## 来訪者

(2020.2.19) (2020.4.30) 敬称略

- サン柳亭 小柳 元
- 特定医療法人人生仁会 牧上美由紀
- 相談支援事業所 地域活動支援センター 豊川 覚
- 障害者支援施設マーシ園 牧野 俊輔
- 相談支援事業所 このゆびとーまれ 西端 政揮
- ㈱日本空調北陸 住吉自治会 沖村 茂
- 学校法人神通学園 高朋高等学校 新村 弘
- 富山県厚生部障害福祉課 松本 則幸
- 富山県呉羽青少年自然の家 河尻 茂明 折戸 達成
- 長谷川 互 村上 武史
- 北陸電力送配電㈱ 富山支社 納村 拓暢
- 前田 健

## 編集後記

毎年、めひの野園には福祉系、医療系の学校から学生さんが介護実習に訪れ、様々なことを学んでいきます。本誌では、昨年度に当園で実習を終えた学生さんたちのレポートを抜粋して紹介しました。

実習に来た学生さんと話していると、「将来の自分の仕事に求めるもの」が、私が学生の頃とはずいぶん変わって来ているのだと感じます。

私が学生だった約20年前は「就職氷河期」と呼ばれ、就職活動はしたものの、一社からも内定が出ず、就職浪人する学生も少なくない時代でした。「学校基本調査」によれば、2003年の大卒就職率は55.1%。2019年が78.0%なので、

当時がどれだけ就職が難しい時代だったのかが分かります。「ニート」という言葉が世間に広まりましたのもこの頃でした。「どこへでも就職さえ出来ればありがたい。仕事がなくともしょうがない」なんて思っていた20年前の私に比べると、今の若者は「やりがい」や、「自己実現」といったものを、より仕事に求めているように感じます。また、「東日本大震災」や、

昨年の「長野台風」のような大きな災害を目の当たりにしてきたからなのか、「ソーシャル・グッド」、つまり、「自分の力を社会や人のために活かす」ことへの意識が高いように感じます。そう考えると、私たちの「社会福祉業界」は、まさに「ソーシャル・グッド」な仕事の宝庫で、これを若者たちにアピールしない手はないのではないかと思っています。

(岡崎 記)